

和様ギャングスタとしての極道ジャージ

【台東区・浅草】

生かしちゃ貰えぬこの身体
 ハイにさせる45口径
 引き金に手をかけ 時が来る
 前に広がるあの世の光景
 鼻垂れだったガキの頃から
 バスの後ろで騒ぎを起こし
 ハイスクールじゃバカで問題児
 叩けば埃の出るカラダ
 今じゃ立派な札付きだ けど
 誰が俺を責められる
 イタミをなくすハッパだけが
 オノレを救う唯一の煙
 ズタズタになって 道を外れて
 転がり落ちる お構いなしさ
 “Pain” by 2Pac (www.2pacjapan.net より)

思いっきりオーバーサイズのトレーニング
 スーツ（ジャージ上下）。斜めにかぶった野
 球帽。足元は登山もしないのにティンバーラ
 ンドのブーツ。それに肩凝りしそうなゴツい
 ゴールドのアクセサリ……。言わずと知れ
 たギャングスタ・スタイルの正装だ。

こんなところにも、と驚くような小さな町
 の電柱や壁にも、いまや地元のヒップホッ
 プ・グループのライブ告知が貼ってある。日
 本全国、そしてパリからバンコクからヨハネ
 スブルクにブエノスアイレスまで、いまやヒ
 ップホップ・カルチャーと、その「制服」と
 してのギャングスタ・ファッションは全世界
 的な「スタイル」として、すっかり定着した
 感がある。

しかし！ ブロンクスやイーストLAでギャ
 ングスタ・ファッションが生まれたのと同
 じころ、日本の片隅で「和様ギャングスタ」
 とも呼ぶべき、まったくオリジナルな漢のフ

アッション・デザインが生まれたのを、君は
 知っているか。

ギャングスタと同じような、ジャケットも
 パンツも裾を絞らないルーズなシルエット。
 黒一色、白一色など、基本的にシンプルな色
 づかい。なのに、背中や胸にはものすごく場
 違いな、大判のブルドッグとかのイラスト！

そう、「ヤクザ・ジャージ」とか「極道ジ
 ャージ」と呼びならわされる、トレーニング
 スーツなのに「トレーニング」という語感か
 らもっとも遠くに位置する、異形のスポー
 ツ・ファッションだ。

『GALFY』、『LOUIS VERSUS』などと欧米
 っぽいブランド・ネームを持ちながら、実は
 すべて純日本メーカー。それも東京ですらな
 く岐阜が中心という、ローカル・ヒーローに
 よる、ローカル・ヒーローのためのデザイン
 ——そこに「極ジャー」の真価がある。

アメリカの改造ハーレーを真似るばかりの、
 日本の田舎のロウライダーたちのように、ア
 メリカのラッパーを真似るばかりの田舎のヒ
 ップホップ少年たちは、自分のいちばん身近
 にある、いちばんオリジナルなスタイルにま
 だ気がついていない。田舎のアンダーグラウ
 ンドな人たちは、とっくの昔に気がついてい
 るというのに。

ギャングスタのオーバーサイズ・ジャージ
 が、もともと武器や盗品を隠し持ったり、サ
 イズの合わない刑務所の制服を想起させるこ
 とを通じて「ワルのイメージ」を構築するとい
 う、明確な目的意識にもとづくスタイルだ
 ったように、アメリカの黒人にとってああい
 う服装をすることには、まず周囲に自分の立
 ち位置を知らせるメッセージが含まれていた



薄紫におなじみのドッグ・マークが
 乗った、ルイバーサスの夏物セット
 アップ（上下セット）。モデルは劇
 団花車・姫勘九郎さん